

2017⁴月



原水協通信

日本原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

核兵器禁止条約交渉会議に連帯しよう!

3月27日、歴史的会議始まる

国連史上初めての「核兵器禁止条約の交渉会議」が三月二十七日に始まります。昨年の国連総会では、今年中に二回の交渉会議が予定されています。この第一回目が三月二十七日。この「交渉会議」に連帯する署名宣伝活動が三月二十五日梅田ヨドバシカメラ前で歌声響き華やかに行われました。八団体から二十六名が参加し、三十八筆の署名が寄せられました。

「国連史上初めて」と署名する人も

た。他の男子高校生も春休みで買い物に來たと、署名に応じてくれました

「こんな会議は、初めて開かれるのですか」と、高校生からの質問。「そうですねです。すごいことな

署名に立ち止まってくれらることです。外国の人も多くて、もっと多くの方に署名をしてほしい」の感想が寄せられました。

声あげて、三人そろって署名に応じてくれました

た。他の男子高校生も春休みで買い物に來たと、署名に応じてくれました

また、六月のニューヨーク行動については、「もうとでも楽しみで。一緒に行くことになっている大教組の中林さんに四月から英語

吹田市から來られた女性は、「この交渉会議に日本政府はどういう態度なんですか。ちゃん



☆春休みの高校生も集まり、にぎやかに署名

には、大阪から岩田理事長を団長として派遣団が組織されます。この代表団に参加する岡本亮介さん(大教組・二十七歳)が署名活動に参加しました。岡本さんは、「うれしいのは、高校生や大学生が関心があつて、

を教えるもらうことになつていて、期待する声と決意が述べられました。大阪代表団は、六月十五日に出発の予定です。現在の申し込み団体



被爆者も訴えました。寝屋川原爆被害者の会の松山五郎さん(八十七歳)です。「私は、広島二中の四年生の時に原爆を浴びました。土曜日が私たち四年生の建物疎開の番でした。八月六日、月曜日は一年生の番だったのです。一年生全員三百六十名が亡くなったのです。私は一年生の無念を思うと、核兵器なくすまで命を賭けているのです」の心からの叫びに、多くの人が立ち止まり、聞き入りました。

と出席して、広島、長崎のこと世界に言わんと。えっ出席するかどうか、わからないの? ほな、出席してちゃんと言おうように、署名するわ」と、署名に応じてくれました。そして、ポンと千円札が出されました。「あんたら、この署名あの遠いニューヨークまで持つていくんの。ほな飛行機代カンパするわ」の千円札でした。

この署名行動には、大阪うたごえ協議会の皆さんが最初から参加。美しいハーモニイの歌声の演奏がありました。歌声と春の日差しいっぱい「国連連帯署名宣伝行動」となりました。

国連会議不参加の日本政府に抗議文

被爆国の責任を！



国連では、三月二十七日より核兵器禁止条約の交渉会議が始まりました。日本政府は、態度をあいまいにしたまま開会日を迎え、開会日に高見沢軍縮大使が「不参加」の演説を行いました。

これに対し、大阪原水協は、三月二十九日、岩田理事長名の抗議声明文を発表し、抗議文を安倍首相に送付しました。また抗議文は、マスコミ各社にも送付。毎日新聞が三十日朝刊に掲載しました。

日本原水協は、三月二十九日、首相官邸前で抗議活動を行いました。この行動には、東京の被爆者団体・東友会はじめ五十三人が参加しました。安井事務局長は、「唯一の被爆国として核兵器廃絶の先頭に立つといながら、禁止条約の交渉には反対する」という

日本政府の二枚舌には怒りを持って、厳しく抗議するものです」と、強く抗議しました。最後に参加者全員で「日本政府は、被爆者を裏切るな」「被爆国の責任をはたせ」のシュプレヒコールを官邸に向け唱和しました。

原発なくせの声続けよう



3・11集会意気高く

福島第一原発事故から六年目を迎えた三月十一日、「原発ゼロ大阪集会」が開かれました。会場一杯の六百五十人が参加。新潟大・立石教授は「地震は原発の最大のリスク」と、現在の原発行政に警鐘を鳴らしました。その後、府下各地から自然エネルギー発電などの取り組みも紹介されました。集会後関西電力の大株主である大阪市役所までパレードしました。



☆写真右：藤森俊希さん

三月三十一日まで開催された「核兵器禁止条約の交渉会議」は、歴史的な成果を残して閉幕しました。第二会期は、六月十五日から始まりです。

議長をつとめたエレン・ホワイトさん(コスタリカ)は、「充実した内容で、六月初めには、具体的条文を提示します。ヒバクシャの証言は、核兵器の非人道的影響をわれわれに鮮明に思い起こさせてくれた」と、発言しました。

この会議冒頭、藤森俊希さん(日本被団協事務局長)が被爆証言。会議二日目には、セツコ・サローさん(カナダ在住)が原爆のすさまじさを訴えました。

核兵器禁止条約へ 被爆者の声为国連動かす

4月6・9署名宣伝行動 上六・近鉄前
4月6日(土) 12時～13時